

番号	2-2-4	表題	りんによる処理機能への影響と安定運用に向けた 葛西水再生センターの取組	
内容	<p>近年、下水汚泥焼却炉では、焼却灰に含まれるりんが原因の1つと考えられる煙道閉塞が発生しており、焼却炉の予定外の停止や処理能力低下が問題となっている。</p> <p>煙道閉塞の危険性は焼却灰における金属類とりんの含有率によって変動し、りんの含有率が多くなるほど煙道閉塞の危険性が大きく、同時に焼却灰の色が白くなる事が過去の調査で判明している。</p> <p>葛西水再生センターでは、焼却処理前の段階における閉塞傾向把握を目的として、焼却処理する汚泥全体とりんを多く含む余剰汚泥の比率に着目し、比率が大きくなるほど焼却灰の色が白く煙道閉塞の危険性が大きくなる傾向を明らかにした。</p> <p>この傾向をもとに、汚泥処理部門と水処理部門とで情報共有を行い、一沈及び余剰汚泥の引抜量、汚泥焼却量等を連携して管理した。具体的には、余剰比率が大きくなることを防ぐため、幹線底に堆積した汚泥を引込む汚水幹線の「フラッシング運転」を実施することによって、煙道閉塞の危険性を低下させた。また、日々の焼却灰の色をまとめた「灰色通信」を作成し、汚泥処理施設に関連した他機場へ情報発信を行った。</p> <p>これらの取組により、焼却灰の色が赤褐色で安定し、煙道閉塞対策として一定の効果を得ることが出来たので報告する。</p>			
キーワード	煙道閉塞 りん 焼却灰の色 余剰比率			
処理区名	葛西処理区	位置区分	汚泥 水再生センター	
職種区分	設備	施策区分	汚泥処分 汚泥資源化 維持管理向上	
状態区分	調査 研究	新規性	新規知見あり	
実施年度	令和2年度	全体期間		
担当部署	東部第二下水道事務所 葛西水再生センター スラッジ管理担当			
発表履歴	局内	令和3年度 下水道設備研究発表会		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				